

抗原定性検査キット取扱説明書

検査前に必ず
ご確認ください

- 検査前に必ず以下をご確認いただき、正しく検査を行ってください。■ 使用済みのキットは自治体の分別区分に従って廃棄してください。
- 陽性時に使用しますので、製造会社、製造番号、使用期限が記載されている検査キットのパッケージの画像をスマートフォン等で保存してください。

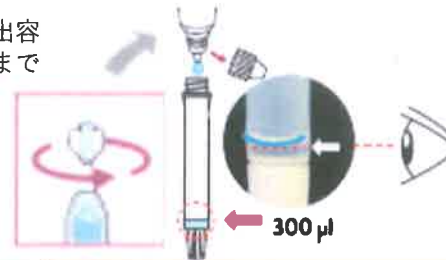
① キット内容

直射日光は避けて保存してください



② 検査前の準備

1 抽出液を検体抽出容器の上限ラインまで加える



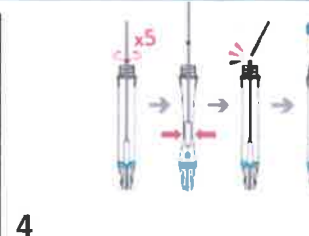
2 抽出液が入った検体抽出容器は立てて抽出液がこぼれないようにしてください。

③ 検査方法

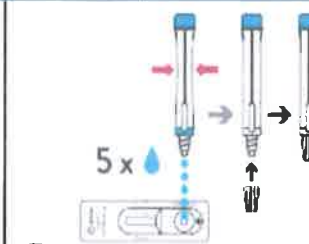
■ 鼻腔検体の採取は必ず受検者本人が行ってください。



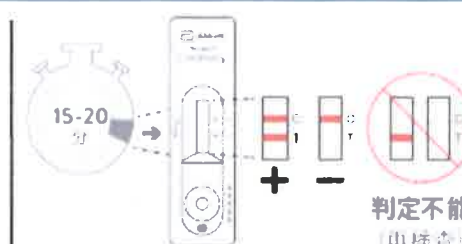
3 滅菌綿棒を鼻腔にゆっくり挿入して最初に抵抗を感じる部分(約2 cm)まで到達したら、鼻腔壁を擦るように5回転させる。同じ綿棒でもう一方の鼻腔で検体採取を繰り返してください。



4 抽出液に検体採取後の綿棒の綿球部分を浸し、管壁に押しつけながら少なくとも5回転は回転させてください。綿棒の軸のブレイクポイントで軸を折ってください。



5 試料液5滴をテストデバイスの検体添加部に垂直に滴下してください。反応がでるまでテストデバイスを動かさないでください。



6 15分後(20分まで)にテストデバイスの判定領域を観察し、ラインの有無により判定してください。

④ テスト結果判定

| 陽性 | 陰性 | 無効 |
|---|--|---|
| | | |
| <p>↑ ↑</p> <p>↑ ↑</p> | <p>↑ ↑</p> | <p>↑ ↑</p> |
| <p>テストライン(T)およびコントロールライン(C)にラインが認められた場合</p> | <p>コントロールライン(C)にのみラインが認められ、テストライン(T)にはラインが認められなかった場合</p> | <p>コントロールライン(C)にラインが認められなかった場合は、たとえテストライン(T)が認められたとしても、検査は無効である。別のテストバスを用いて再検査すること。</p> |

抗原定性検査キット配布に関する
お問合せ先

(専用コールセンター)

080-4102-0246

受付時間：午前9時30分から午後5時まで
(土日祝日を含む毎日)

※陽性判定時等のお問合せ先は裏面をご覧ください

検査結果を医療機関
受診時に提示できるよう、

結果の判定ラインは
15~20分の間 に

■スマートフォン等で撮影し
画像として手元に保存して
ください。